

「働く」を改革する！

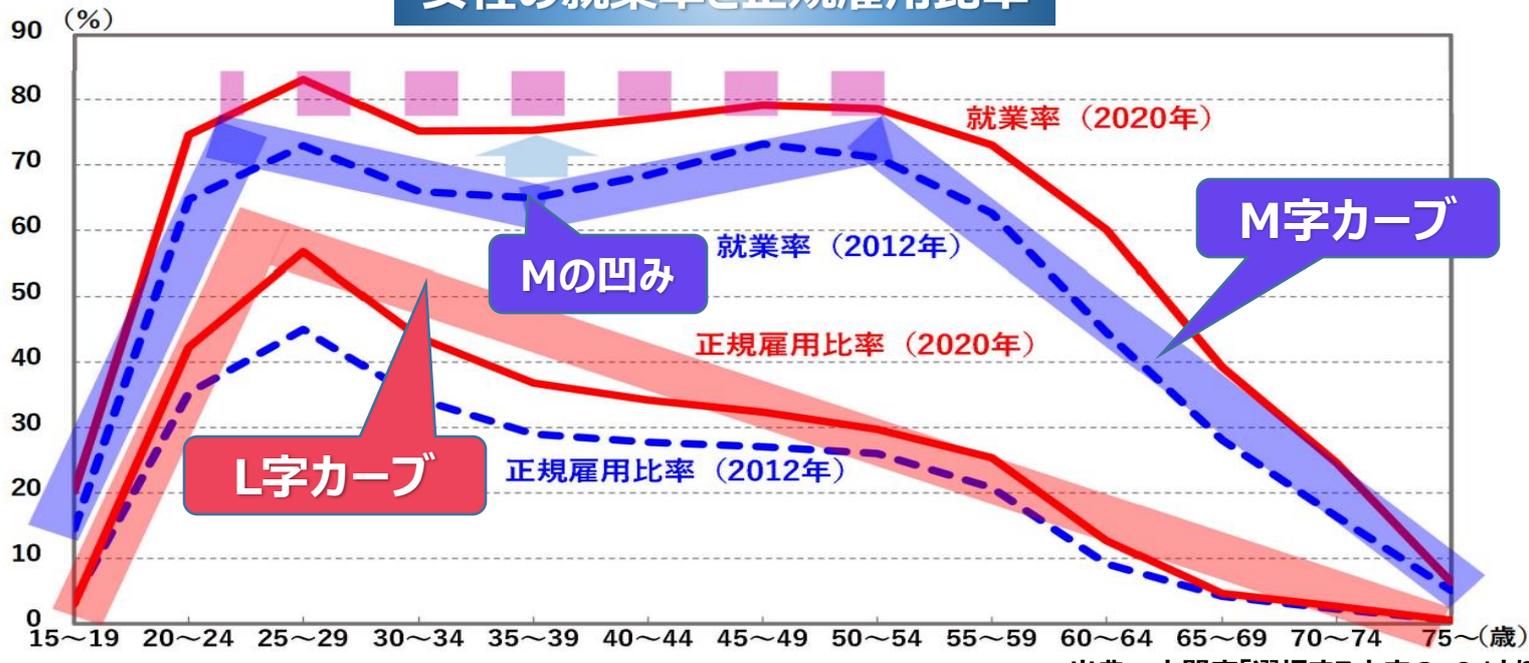
正規雇用につながる公的職業訓練の充実・就業までの伴走支援を！

★**出産・子育てを機に離職した女性達**はなかなか**正規雇用に戻れません**。以前は、下の表にある**M字カーブ**のMの凹みが深いことが問題とされていましたが、**現在は女性の正規雇用率が年齢とともに下がっている右肩下がりのL字カーブ**が社会問題となっています。**埼玉県で仕事に就いていない就業希望女性は21.8%で全国で4番目に高い**というデータもあります。(H29年度)

★**就職氷河期世代**で**望まずに非正規の仕事に就いている方は、未だに県内で推計3万人**おられます。

女性の正規雇用率は、「L字カーブ」のように、20代後半のピークの後、低下を続ける。

女性の就業率と正規雇用比率



(備考) 総務省「労働力調査(詳細集計)」により作成。人口に占める就業者又は正規労働者の割合。出典：内閣府「選択する未来2.0」より

私が経験した再就職プログラムの実態!!

私は**就職氷河期世代ど真ん中**です。厚労省は、この世代で正規の仕事に就いていない人向けに様々な技能訓練→**再就職のプログラム**を用意しています。

私は昨年、「システム運用技術者」を目指すコースに参加し、**計112時間**に及ぶITに関する知識を学び、**試験に合格**し、就職支援を受けました。

しかし、**企業の求めるスキルと私達の得たそれには大きなへだたり**があり、実際に**正規の就職に結びついた人は1割程**でした。せっかく**多大なお金や時間**をかけている**プログラムなのに、もったいない**と思う点がたくさんありました。

特に、東京都が行っているように、**企業の現場でお試し期間のように働ける機会が設けられていたら、働く人も企業ももっといいめぐりあわせがあるのではないか**と思います。